



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

戦争は今までもこれからも絶対にあってはいけない
ものだとあらためて実感しました。

今も他の国で紛争がおきていて争いがおさまって
ないのです。私はこのような争い事を、今日の話し
を聞き必ずなくしたいと思いました。

戦争は人の命をうばうし生きていたとしても心や体
に傷を負い、今でも人をくるしめていました。

そんなことをしてもたれも得してない喜んで
いません。これからあっていいのは人々を幸せに
する取り組みと、笑顔を生み出す取り組み
だけだと思います。

そして自分たちの国が平和だからといって、自
分が毎日ご飯を食べていられるからといって、楽に
生活するのではなく、素晴らしい人たちにも目を向
けて過ごしていきたいと思いました。

今日の話を聞いてもう一度じっくり戦争について
考えることができました。このことを絶対に忘れ
ず生きていこうと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆先生の特別授業をして、とても貴重なことを知れたと思います。

ぼくがとても印象的だったのは原爆が広島に落されてから、ちょっとしたあとのことでも、トラックに人が乗るときに持ったときです。原爆先生がしゃべるときに頭の中で想像して対面、とても持ったこと、思いました。なぜなら持った時に、人が落ちるか、人のおおやけでの、全身を見ることが、ぼくにはできないと思いました。

ぼくにはまだ原爆に関することがたくさんないと思いましたが、しかし、今回で学んだことはとても大切なことだと考えます。今、原爆のことを知っている人は、あまりいないと思います。だから、この知っている人が、若い人におしえることが大切だなと思いました。

そうしなければまた、戦争という、とてもあつな心とが、くりかえされるかもしれないからです。

あらためて、戦争は危険で、人の大切な命をうばうためにしかないものだと、思いますが、やっぱり、戦争はせめて、や、ちや、い、け、な、い、と、思、い、ま、し、た。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこ

表

名前は裏面に記入してください

池田義三さんが体験をした広島原爆のことがよくわかりました。

当時18才だった義三さんが爆心地に行き、死体のそばに焼却などのすゝいこととしかたんだなと思いは、それも18才で、お兵士もあつたといふも、お義三さんの勇気にほくは、心をうたがなされました。しっかりと勇気もあつた、行動したといふ思ひました。

原爆投下の時の映像は、とても心に残っています。原爆といふのは、とても恐ろしく、ゆらゆら揺る揺る、とても強い力があつたといふものもあつたといふことがわかりました。

この恐ろしいことがあつたといふことを、これからの人生を過していかたいです。

貴重な授業をおかどうもありがとうございました。いふことも学びました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、あることがきっかけで原爆について調べていたし、授業もやっていたので知っていたつもりでいました。すごく悲惨だな、この生活は当たり前じゃないんだなと思いました。

でも、今回の「原爆先生の特別授業」をうけて本当の原爆の恐ろしさを知らされました。

人間の皮膚がそれほど悲惨な状態になってしまうのか、人間が一瞬で消えてしまうのか、と、とてもびっくりしました。私には、想像もできませんでした。

原爆が落ちた時の音に私はとても驚きました。

でも、きっと私が感じた驚きよりも、何千倍もすごいものだと考えたら、鳥肌がたつほど怖ろしいと感じました。

私は今回の特別授業を通して、あらためて原爆の本当の怖さと残酷さを感じました。それと同時に本当に原爆を落とすのが正解だったのか、日本に原爆が落とされるのをアメリカほどのように見て感じていたのか、考えただけでも腹が立ちました。でも、それも昔の話、原爆のことは絶対に忘れない、原爆で亡くなった人の死を無駄にせず次に生かしていかねばならないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

私は、わかりです。なので"原爆のことについて自らふれたことはこの授業を受けるまで、あまりありませんでした。

原爆先生の授業は、体験したということもあり、教科書よりも、先生よりも、なによりも現実的であり、そしてわかりました。原爆先生のお父さんは、今のおばけやしきより何100倍も、こわいものを見たのだ"なと思いました。

原爆先生の話し方はとてもすばらしかったです。すぐに話しの中に入ることができました。私も話しを聞いて「ゾクッ」としたり、おどろいたりしました。当時の様子がわかりやすかったです。

私が一番びっくりしたのは、原爆が太陽よりもあついということでした。そんなものが落ちてきたら...と考えると、ゾクッとします。

特別授業を受けて、私は原爆はこの世にあってはならないものだ"ということがわかりました。苦しくて、痛くて、悲しい。そんな感情をもう二度と、原爆によってもたらしてはいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

学校の授業では知らなかったことが、たくさん知れました。原爆は、おそろしいものだがとは知っていたけれど、こんなにもおそろしいとは知りませんでした。原爆先生のお話は、途中でききたくなくなってしまうくらいひさなお話して、聞いているちまでゾクッとしました。けれど、それを体験した人々は、今の私たちの、何倍、何十倍、何百倍も、こわい体験をしたのだらうと思います。先生のお父さんは、17歳で、そのような体験をして、どのような思いだったのか。それはそれは、言葉には表せない気持ちだったと思います。今回の、このような貴重なお話を、教えてくれて、原爆のことについて、よく分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この話を聞いて、広島に落ちた、
原爆は、とても悲惨な事だと、改めて
感じました。原爆が、落ちた、場所
の近くにいた人は、死んだか、生か
れて、人間とは思えないかた。この
話を、聞いて、とても、悲しくなりました。
ほくは、この話を、聞いて、2度と、戦争
原爆を使。ては、いけない、と思はれた。
与えられた命を、大事にして、今後の人
生において、この事は、絶対に忘れ
ては、いけないと、感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いてみて、戦争の様子を知ることができました。

印のように残った話は、3つあります。1つ目は原爆投下都市の条件です。なぜなら、きとうに場戸所を決めていると思、ていたけど、3つの条件があ、たり、文化財があるからた、たり、いろいろなことを考えながら決めていることが分、たからです。

2つ目は原爆が爆発した時の温度です。なぜなら、爆発する時の温度は、いままで気にしたことがな、か、たけど話を聞いて、中心が100万℃、まわりが7000℃、地面に爆風が着いた時でも3000℃もあり、全ての物がとけてしまうくらいの温度だったのでび、く、りしたからです。

3つ目はよしぞうさんが軍たいの車に原爆のひがいを受けた人を乗せようとした時です。なぜなら、よしぞうさんが軍たいの車にその人たちを乗せようと手をと、て引、は、てあげたら、手のひ、ふ、が、つ、る、と、い、て、し、ま、った、と、言、っ、て、い、て、痛、そ、う、た、な、と、思、っ、た、し、正、直、き、も、ち、ぬ、る、そ、う、だ、な、と、思、っ、た、か、ら、で、す。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/20

ぼくは、原爆についてよく知りませんでした。

それで特別授業を受講して原爆は多くの人の命をうばう脅威にかたらない凶悪兵器だと思いました。

それに、原爆先生が言っていた、銃引こうとしたら、うでのひふや肉が骨の折れまわった木下からた

と、聞いておそろしくらい鳥はかかたりました。

ぼくは想像しようとして去恐てうまく想像できません。しかし、とてつなく恐いものなことはわかります。

もう一つ言っていた太陽より1000°表面温度が高いものが地上600mのところにあるという

こと。ぼくは宇宙関係の本で太陽に近づくと、一しんて体そのものがきえると読みました。

太陽より1000°あつ、地上600mのところ、というのはありえないと、ぼくは思います。

ぼくは、今回の特別授業で「学人なことは、原爆は、多数の人の命をうばうという

とても恐く、ありえないことかてする凶悪兵器だ」ということです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は、マンガの「はだしのゲン」を読んだことがあるが、その
 マンガは伝説的なくらい、原爆のいかにひどく、凄く大
 きな被害が出たことが、肌で感じられた。なぜ陰にいた人た
 ちは助かったのか、その原理を知りたいと思った。また、なぜB29爆撃
 機に機長のタブレット際の母の名前がついたのか、疑問に思
 った。また、なぜ広島に投下された原爆にリトルボーイという名称を
 つけたのか、疑問に思った。原爆を二度落とされるまで過ちに
 気づくことができなかった日本の政府は、今の日本人の考えと全
 く違っていたなあと思ふ。最近の核ミサイルは、原爆を超た
 い力があると聞いたことがあるが、原爆で、こんなに被害が出
 ているのに、その被害をこらうとしたか、日常的になつてしま
 えば、地球が終焉するのと同然になつてしまふと思ふ。太平洋戦争の
 決着をつけるためではあつたが、それを利用して、原爆の凄惨な
 したアメリカの科学者たちは何で物凄みに認識した。そして、それを
 巻きこまされた、広島や長崎の人たちは、と何かがあつて、悲しま
 った。世界中で、いつ核兵器を落とされた国民として、以
 前このよ様な悲境な出来事があったことを忘れないで、いま
 このことをしっかりと後世に残すことができるように、若者な
 らうという機会をもつてくれることは、とても大切なことだと思ふ。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

最初、真剣^{なげん}に私たちが聞く姿勢になるまで見つめているきい
しました。きっと、これくらい真剣で大事で、悲しい話を始めるために、
ているのだと聞き終わってから思いました。私は「広島の子市妹
という本を夏休みに読みました。その話は実際にあった話をもとに作ら
れたものでした。原爆先生が「ピカッ」と言った時と同じように書かれました。私は
みんな同じお話をしたのだと思っていました。「ピカッ」と言った時は本当に
おどろきました。きっと原爆先生はみんなはもっとおどろくと思っていました。
よしぞうさんは、たまたまが重なって、その時、お話を聞かされたと言ってい
たけど、傷をおいた人はたくさんいて、亡くなった人もたくさんいると聞いて
原子爆弾はすごい、いかに怖いなものかと思えました。私は原爆先
生が話していることで忘れられない所がたしかありません。きっとよしぞ
うさんや、広島の子市妹をもとにした話をした人も、忘れられなくて、心
に深い傷が残ったと思えます。さいげんされた事が画をみた時は、
実際にその場にいたら、怖かったと思えました。みている時も、本
当に怖かったです。これからは一生忘れられないことなんだと
思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この話をきいて、やはり戦争はしちゃだめだと
あらためて思った。3000℃もあるから、体外いしん
で蒸発して、そのあとには黒いあとだけが残る。
いまままで生きてたのに、黒いあとだけが残
らばいいのはすごく悲しいと思う。

話をきいて、すごく心に残ったのは、
道をすすむと、どんどん人が来て、助けて、
と言っているから、車のウしろにのせろと
するときにひぶがけが来て、痛い、痛い
って言う。アキいてるのが少し辛かった。

言ったらだめかもしれたいけど、
この時代にうまれたいでよからた
って思うし、だから、もう絶対に戦争を
させないと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の話をきいて、改めて原爆のおそろしさを知りました。

前までは、原爆はただただこわいものと思っていたけれど今は、その時の戦士の気持が、町の人達の気持をしり、ただただこわいしるまじい、いざいのこわさなんだなと考えました。

後、私は先生の「体からうじ虫がでてきた」という言葉が、一番いんしょうに残っています。

それに、私は、学校や、いるみんなくんれんも命を守る大切なくんれんなのだ、とも改めて考えました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私はこんなにくわしく原爆くについて知った
ことはありませんでした。今まで社会で
勉強した中で初めて聞いた言葉、話も
ありましたが決してうれしいとかおもしろ
いと思うしゃんかんは一秒もありません
でした。先生はすごく分かりやすく真けん
に語ってくれました。と中の「……………
……ピカー！」というところは心ぞうが
止まるほどびっくりしましたが本当に体験
した人はそんなんじゃおさまらないこと
を改めて実感し、今度広島へ行ってもう少し
おそろしさを体験し、学ぼうと思わいました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生が実にやけどをしてしまった人の歩く体勢をやって教えてくれたので、わきがこすれた時の痛みなどがより伝わってきました。

戦争やばく弾のおそろしさや、生き残ることの難しさが分かりました。

私が一番おどろいたことは、地面の600m上にできた7000℃のかたまりのことです。太陽よりもあついものが500m上にあったら、私は暑すぎてたおれてしまうと思います。さらに、この暑さのせいで金ぞくかとかされてしまったと言っていたので、想像をぜりするほどばく弾のいよくはすごいんだなと思いました。

私は、このことを知って、今の日本は平和だと思いました。

これからも戦争が起こってほしくないと思^々います。
この授業をうける



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の授業を受けて、原爆を体験した人が
今でも、思い出すと泣いてしまうほどのこわさがかんじられ
た。実際の話をおきくとなみだがでてくるようなふるえか
とまらなくなるほどのおそろしい話でした。資料のじかん
は、資料から分かる原爆のいかなどを学びました。
ぼくは、原爆の授業を受け、とても命の大切さが
分かりました。そして、これからの未来をよくするために
世界と平和でいたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、授業で広島原爆の話を知る前にも、
家族で広島に行き、原爆について、そこでも聞いていま
した。でも何回きいても心が痛い話でした。

今日の話しの中で一番心に残ったのは、原爆が
落とされた一瞬間で、人がとけてしまひ、いなくなり、
そこにいた人が、黒いあとをのこし、残ってしまったこと
が、一番原爆のおそろしさを感じました。

もう一つ、おそろしかったのは、たった一発の
原爆で、35万人のウチ、死亡率40%、という
のかとでもおそろしかったです。たった一発
だけでたくさん人の命をうばってしまう。
とてもさうにくてした。もし生きのこっても、
話の中にあつたようにいたる所に、死んでしま
まっている人がいて、生き生きほうぼうなかつた
と思ひました。

私は、この話をきくや二度とこのように、
原爆や戦争でたくさん人の命をうば
うことは、絶対にほ、いけな、と思ひました。
このことを後世に伝え同じことか、ないような未来を



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/18

天候によって投下場所を変えるなんて納得いきませんでした。一つの爆弾で人口の5人に2人が亡くなるような威力なのに、そんな怖い爆弾を天候によって変えるなんて怖すぎると思いました。私は原爆ドームに行った事がないけど、写真から原子爆弾の怖さ、人々の辛さが伝わってきました。原爆症という病気で苦しんでいる人も少なくなりました。池田義三さんは、とたくさんの被爆者を助けてきたと思います。私たちがら皮膚がはがれ落ちるのを見てしまうと怖くて目も開けられない事なんてできないと思いました。「原子爆弾」「戦争」この言葉を忘れてはいけないと思いました。たった一つの爆弾でとたくさんの人が苦しんでいたと思います。もう戦争は起きて欲しくないと思身にしみて感じました。自分では戦争について知っているつもりだったけど知らない事が多くて恐怖でしかありませんでした。もと生きていたから人がとたくさんだったと思います。そう思うと今、私が生きている事は奇跡だと思いました。なので、今を生きたらのように生きようと思いました。もう戦争は起きてはいけないと改めて感じる事ができた授業でした。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生のお話を聞いていて、原爆投下後の広島を想像すると、悲惨さや被爆者の悲しい気持ちや、少しは理解できたように思います。

お話の中で、特に心に残ったことは、人が一瞬で消えたように見える、ということです。もし私の家族が、骨も残らずに原爆のせいで跡形もなくこの世を去ってしまったら...と考えると、原爆を投下したアメリカを一生憎みます。そして、その原爆のいかに驚きました。音の速さより速く衝撃波をくらうなんて、とてもおそろしい体験なので、私なら絶対に生きることをあきらめます。

今日、お話を聴き、改めて、戦争は人の心と体に苦しめしかもたらさぬものだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

江田さんの話を聞いたリビデオを見てほ
くは教科書や資料集に書いてあることや自分
が知っていたことは原爆量の一部であって知ったつも
りでいっちゃたかなと思いました。

爆心+地から2~3kmの外にいる人はみな亡
くなってしまおうと思っていたので初ドラム缶の影や
門の下にあらうといふ無傷の人達がいたと聞いてとて
も驚きました。もしそこにいなければ無事に生
きてはいけなかつたと思つて実際に体験してい
るのにハラハラしてしまいました。

自分達が生きてる時代もそうです。これから
の時代こんなことが二度とおこらないでほしいで
す。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

マンガの「はだしのゲン」などで原爆の恐しさは知っていたけれど、今回の授業では自分が本当にヒロシマという地獄にいるかのような臨場感を感じられました。生きたまま焼かぬ苦しむ人々、一瞬にして体が米粉粉になる人々、そんな罪のない彼らへの哀みの心で胸がいばいになり、話を聞いている間、涙をこらえるので精いっぱいでした。今、この文を書いている時にも涙がこみ上がってきます。原爆という人間のあろかさの象徴の犠牲となつた人々へ、黙禱をささげざるをえません。そして、この悲劇を二度とくり返してはならないと、これまで的人生の中で最も強く思いました。衝撃と悲しみ恐怖で満ちたぼくの心情な言葉に表せません。絶対に、絶対に絶対にくり返してはならない。新しい言葉にできるぼくの思いは、ただそれだけです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受けて、忘れてはいけ
ない貴重な体験になりました。社会の授業のときと
ちがって、自分のお父さんが実際に体験した日々を話して
いました。広島と長崎だけが候補になっていたと
私は思っていたけど、原爆先生の授業を受けて小倉
というところも候補になっていたことが分かりました。
他にも、原爆が落とされる都市の条件があると
や広島に落とされたリトルボーイは47もあること
が分かりました。原子爆弾の重さを考えることが
なかったのをとても驚くことになりました。原爆先生のお
父さんはまた大人になってもないのに、兵隊に
なっ、原爆の直ぐそばにいた人々を救って、もう人の
姿ではない人々を運ぶことはたとえ命令されても私だけ
らで抱いてにげていたかもしれないです。原爆先生が原子
爆弾の音を表現していて、「ピカッと言ったときは、本音
おどろいて、音ではないけれど、原爆先生のお父
さんはそれ以上にびっくりしたな」と思いました。
知らなかったことが多かったのでも勉強になりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の特別授業を受けて、原爆のおそろしさを感じました。文章だけでもおそろしいのに、現実ではそれ以上の事が起きていたと思^思いも信じられません。また、その爆弾を^サつも落とすという行為に、人間のおそろしさを感じました。このような事が起こらない為にも、核兵器が世界から無くなればいいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

資料館の人形はかみか乱れ服は血で汚れていて想像以上に悲惨なものでした。しかし池田養三さんはこの人形を見て「きれいさうと言ったので、ちとおそろしい姿だったでしょうが私は人形以上のけがを負った人が實際にいると思うと、ぞ、として小怖くなりました。生きている姿を考えるとすら私は小怖いと思っていますが、当時軍隊に入っていた人たちは、たくまの真赤になたも、激しくこのなり体が川にあり、た光景を見ただけでなく、土手に運ぶ作業をしたと聞いて驚きました。いく命令だからとらてすこいなと思いはした。そして私が最も尊敬することは、17、8歳の女小生の命を救ったこと。いくつもの体を運べつかれているはずと思うのですが、養三さんは適切な判断で応急処置を行い、港まで背負って行きました。この女小生の命を救った養三さんは本当にすこいと思います。

この特別授業で、原爆は私が思っている以上におそろしいものだと分かりました。そして木さなけがを負った人は後に全員亡くな、てしまったかと思っていました。ですが、養三さんが助けた女小生のように生きることが出来る人もわずかだと思ひますが、いることを知りました。二日間の爆死で14万人もの人が亡くなったと思ひと命がどれだけ大切なものが分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

とても悲しくアさんくくな出来事だったんだなと思ひました。原爆のおそろしさや被害にあった人たちのかわいそうなすがたが授業よりくわしかつたので改めておどろきました。生きてゐることは、あたりまえではないんだなと思ひました。第二次世界大戦の出来事を言吾れる人は、今、あまりいないと思ひつのでこの話は、貴重な話として忘れないうようにしたいと思ひました。これからも1日1日を大切に生きていきたいと思ひました。

原爆先生の授業がとてモリアルで分がりやすかつたです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは土曜日、原爆先生に原爆についてくわしく教えてもらいました。原爆により広島^の死者が思った数より約2倍でびっくりしました。その他、原爆により被害を受けた人はひらがたたかれていて原爆先生によると、血まみれだらたと言っていて原爆の強さなどを知りました。原爆により、死亡率は40%とすごい高いです。これは、5人に2人は死亡するということになるらしいです。あと原爆の玉みたいなお玉には表面が7000℃その中でも中心に位置する所はなんと100万℃と太陽の6000℃を上回る熱さでそれを聞いたときやはらと思いました。話を聞いて原爆はおそろいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を聞いて、少しこわい部分もあったけど、人々が誰かのためになろうとしていたのがよく分かりました。

男の子が「お姉ちゃんを助けて」と声をかけられた時、こわがるのかなと思ったけど、手当てをして新しい包帯にしたのがすごくいいなあ、すごくやさしい人だなと思いました。その後も安全な場所につれていたり、やけどで、ゾッとしても手をさしのべていた所に感動しました。

社会の時間で「学んだより、よくわかって私たちが生まれる前こんなことがあった」と分かりました。私は見たことがないけど、その時の天気やにおいなど話を聞いているだけでゾッとしてました。

そして原爆ドームに少し興味がわきました。見に行ってみたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

やっぱり原爆で怖くて、こんなことがもう二度と起きて欲
しくないと思いました。こういう残酷なことが起きたことを覚えて
いなければならぬと思いました。本当に「わはっ」という
言葉しか出てきません。一瞬で多くの命がうはわれていき、
関係のない人までもかまきこまれ、悲しいし、誰も得
などしないのに。皮膚が溶けていると聞いた時すこい
寒気がしました。これを直に見たらと想像したら本当に
めっちゃわはっしい怖いです。原爆を体験した日本が
このおそろしさをうたえていかなければならぬいな
と思いました。今は、原爆の風景などあまりないけど
原爆を体験した人が今の状態を見たらめっちゃおど
ろくんだろうなと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はこの特別授業を受講し、戦争のお話や映像たくさん見て、聞いて背中が「ゾ」と

しました。題名が「『7000の少年』で最初は何の事かよく分かりませんでした。

その時原爆先生の授業が「始まりました。

これ、原爆先生のお話が進むにつれ、お話の題名の意味が「だんだん」と分かってきました。

お話で原爆で苦しめられた人の話をしてくれて聞いている方も苦しくなるようでした。

お話のあとに映像を見て、一番おどろいたことは

原爆が落とされた瞬間、本当に人が消えようがかげたけが「残っていました。

特にこの方にならなくなったと、とてもびっくりしました。

そして、人が真赤・真黒に焼けました人は皮ふがとれてしまうと聞きすぐかわいそうだと思いました。題名の意味が

やっと分かりました。原爆先生のお話を聞き、「絶対にもう日本で戦争を起してはいけません」と強く思いました。

この授業のおかげで戦争をよく知ることができました。これからも戦争を語りつがなくてはいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の話を聞いて、すごく原子爆弾が怖くなりました。一つも話にいい所がなく、と中で想像するのがいやになりました。それでも事実だと思い聞きました。すごくいやだったです。義三さんが経験した出撃事が、もし私が体験したら逃げだして頭がおかしくなっていたと思います。こんなに怖い兵器をつくった人はいったいだれなんだ?と思いました。一番最初に戦争をすると決めた日本のトップの人々がすごいムカビました。太陽よりも熱い爆弾が上空で爆破し、一しゅんで何もなくなるというのがしゅげき自的でした。義三さんが原爆資料館が「きれいすぎる」と言って、と「ただけ本物はおそろしかったのが、すごく目をおそろしてはいけないなと思いました。